

2005
8
AUGUST
No.1

創刊号

【目次】

発刊にあたって……………	2
6月定例会……………	4
常任委員会レポート……………	8
一般質問……………	12
編集後記……………	24

だ議 より 会



白山市



石川ソフトリサーチパーク「やしこの水辺」より白山を望む●倉重正久(白山市松任美術協会会員)

発刊にあたって



白山市議会議長
徳田 巖

「白山市議会だより」の発刊にあたり、ご挨拶申し上げます。

今日、地方分権の進展に伴い、地方議会に求められる役割が増す中、白山市議会では、市政に対するチェック機能に加えて、市民の皆様の意見を市政に反映させ、個性豊かで魅力ある地域づくりができるように、市政の各分野にわたり積極的に政策提言を行うなど、様々な活動を展開しております。

また、このような市議会の活動に関する情報の公開と提供を通じて、市民の皆様が開かれた議会を目指しております。そういう意味におきまして、議会の活動状況、情報を掲載した、この「議会だより」が果たす役割は、極めて重要であります。

私たち市議会議員一同は、多様化する市民のニーズに応えるべく皆様の声に耳を傾けながら、公平、公正を基本に掲げ、行政と議会が一体となり、白山市の発展と市民福祉の向上を目指し、職務に励む覚悟であります。

何とぞ、皆様の特段のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。最後に、「議会だより」の紙面が皆様との架け橋となり、市議会の活動に対して関心を持っていただき、身近なものと感じていただけるよう創意工夫を重ねていくことを申し添えて、発刊の挨拶といたします。

発刊を祝して



白山市長
角 光雄

「白山市議会だより」の発刊を心よりお慶び申し上げます。

白山市として、新たに出発した「白山市議会」は、市民から注目され、大きな期待が寄せられております。

議員各位には、日頃から市政推進の役割と責任を果たされ、常に市民の立場にたった議会運営にご尽力いただいております。こうした議会活動の報告は、これまで、市で発行しております「広報はくさん」を通じて広く市民の皆さまにお知らせしてきたところであります。

この度、発刊される「議会だより」は、本会議の報告にとどまらず、公正で公平な開かれた議会活動を、市民の皆さまにわかりやすく周知するため、各常任・特別委員会などの活動報告も掲載されるとお聞きいたしており、議会の主体性と熱意に基づき、地道なご努力に深く敬意を表するものであります。

この「議会だより」の発刊により、市民と議会とがさらに身近となり、行政との密接な連携のもと、今後とも一層の円滑な市政運営に寄与されますことを心より祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

議会議員の紹介

(◎は委員長、○は副委員長)

 <p>古河 尚訓 (ふるかわ まさのり) ・生活経済常任委員 ・少子化対策特別委員</p>	 <p>河原 秀昭 (かわはら ひであき) ○生活経済常任委員 ・交通対策特別委員</p>	 <p>南 清人 (みなみ きよと) ○文教福祉常任委員 ・少子化対策特別委員</p>	 <p>村下 眞次 (むらした しんじ) ・総務企画常任委員 ○交通対策特別委員</p>	 <p>小川 義昭 (おがわ よしあき) ○総務企画常任委員 ・交通対策特別委員</p>	 <p>岡田 俊吾 副議長 (おかだ しゅんご) ・生活経済常任委員 ・防災対策特別委員</p>	 <p>徳田 巖 議長 (とくだ いわお) ・文教福祉常任委員 ・少子化対策特別委員</p>
 <p>岡本 克行 (おかもと かつゆき) ・建設企業常任委員 ・交通対策特別委員</p>	 <p>宮岸 美苗 (みやぎし みなえ) ・文教福祉常任委員 ・少子化対策特別委員</p>	 <p>村本 一則 (むらもと かつのり) ・総務企画常任委員 ◎防災対策特別委員</p>	 <p>宮中 郁恵 (みやなか いくえ) ・文教福祉常任委員 ○少子化対策特別委員</p>	 <p>北嶋 章光 (きたじま あきみつ) ・文教福祉常任委員 ○防災対策特別委員</p>	 <p>本屋 彌壽夫 (もとや やすお) ○建設企業常任委員 ・観光対策特別委員</p>	 <p>安田 竹司 (やすた たけし) ・建設企業常任委員 ○観光対策特別委員</p>
 <p>吉田 郁夫 (よしだ いくお) ・生活経済常任委員 ・観光対策特別委員</p>	 <p>寺越 和洋 (てらこし かずひろ) ◎建設企業常任委員 ・少子化対策特別委員</p>	 <p>小島 文治 (こじま ぶんじ) ・総務企画常任委員 ・防災対策特別委員</p>	 <p>石田 正昭 (いしだ まさあき) ・文教福祉常任委員 ・交通対策特別委員</p>	 <p>撫子 順一 (なでしこ じゅんいち) ・生活経済常任委員 ◎少子化対策特別委員</p>	 <p>杉本 典昭 (すぎもと のりあき) ・総務企画常任委員 ・防災対策特別委員</p>	 <p>高川 篤文 (たかがわ あつふみ) ・建設企業常任委員 ・観光対策特別委員</p>
 <p>北村 登 (きたむら のぼる) ・総務企画常任委員 ・交通対策特別委員</p>	 <p>前多 喜良 (まえだ きよし) ・文教福祉常任委員 ・観光対策特別委員</p>	 <p>大本 久男 (おおもと ひさお) ・生活経済常任委員 ・防災対策特別委員</p>	 <p>笹木 進 (ささき すすむ) ・生活経済常任委員 ・防災対策特別委員</p>	 <p>北山 進 (きたやま すすむ) ・建設企業常任委員 ◎観光対策特別委員</p>	 <p>清水 芳文 (しみず よしふみ) ◎文教福祉常任委員 ・観光対策特別委員</p>	 <p>竹田 伸弘 (たけだ のぶひろ) ・総務企画常任委員 ・防災対策特別委員</p>
 <p>水上 俊明 (みずかみ としあき) ・総務企画常任委員 ・少子化対策特別委員</p>	 <p>村山 一美 (むらやま かつみ) ・文教福祉常任委員 ・観光対策特別委員</p>	 <p>中西 恵造 (なかにし けいぞう) ・生活経済常任委員 ・少子化対策特別委員</p>	 <p>林 繁 (はやし しげる) ◎生活経済常任委員 ・観光対策特別委員</p>	 <p>西川 寿夫 (にしがわ ひさお) ・建設企業常任委員 ・交通対策特別委員</p>	 <p>藤田 政樹 (ふじた まさき) ◎総務企画常任委員 ・交通対策特別委員</p>	 <p>北川 謙一 (きたがわ けんいち) ・建設企業常任委員 ◎交通対策特別委員</p>

6月定例会概要

6月14日(火)～6月29日(水)

平成17年第2回市議会定例会 住民の一体感醸成のため 税金の使いみちを決定

一般会計補正予算

増額	24億7735万円
歳入の主なもの	
繰越金	4億1373万円
市債	17億4910万円
一部財源に合併特例債(合併のための有利な借金を充当)	9億5390万円
合計	496億8535万円

平成17年度 補正予算6件

- ◇一般会計補正予算 **賛成多数**で可決 反対一人
- ◇介護保険特別会計補正予算 **全員賛成**で可決
- ◇簡易水道事業特別会計補正予算 **全員賛成**で可決
- ◇観光事業特別会計補正予算 **全員賛成**で可決
- ◇温泉事業特別会計補正予算 **全員賛成**で可決
- ◇下水道事業特別会計補正予算 **全員賛成**で可決

今定例会で審議した議案は、次のとおりです

- 決算認定4件
 - 補正予算6件
 - 条例4件
 - 事件処分8件
 - 専決処分の承認14件
 - 請願1件
 - 議会議案9件
- すべて **可決、承認、同意**



人事

収入役を選任

北田 慎一氏

全員同意



人権擁護委員候補者の推薦について諮問を受ける

全員同意

- 米田 潔さん (鶴来清沢町)
- 中宗 典良さん (井関町)
- 土佐 紀榮さん (湊町)
- 大田 和子さん (部入道町)

決算審査特別委員会を設置しました。

委員長 村山一美 副委員長 笹木進

委員 小川義昭、南清人、古河尚訓、本屋彌壽夫、宮中郁恵、宮岸美苗、

高川篤文、撫子順一、小島文治、吉田郁夫、清水芳文、前多喜良、

北川謙一、岡田俊吾、林 繁、水上俊明

そのほかの特別委員会は以下のとおりです

観光対策特別委員会、防災対策特別委員会、交通対策特別委員会、

少子化対策特別委員会、議会だより編集委員会

一般会計補正予算 24億7735万円増額

総額496億8535万円

歳出の主なもの

◆議会費……………	増額482万円	「健康プラン」の策定など……………	530万円	◆教育費……………	増額7億1913万円
議会だよりの発行……………	440万円	◆労働費……………	増額2178万円	小学校の校舎修繕……………	4581万円
◆総務費……………	増額8134万円	サンライフ松任空調機器改修……………	2178万円	中学校の校舎修繕……………	1183万円
吉野谷支所庁舎改修……………	5000万円	◆農林水産業費……………	増額2億5348万円	スクールバスの購入……………	2971万円
交通安全協会と防犯協会から各町会へ配布するパト		農協、農業法人、農業集団の事業補助……………		千代野・美川・広陽小学校の耐震診断や地震	
ロール用ジャンパーの購入補助金……………	799万円	……………	1億4177万円	補強事業関係……………	2800万円
◆民生費……………	増額3億2944万円	土地改良関係の事業補助……………	9325万円	鳥越中学校プール建設事業……………	680万円
放課後児童クラブのひとり親家庭支援による		林業振興や森林整備……………	1555万円	埋蔵文化財発掘調査……………	2410万円
委託料……………	803万円	◆商工費……………	増額1億8045万円	市民工房うるわし管理運営……………	2170万円
放課後児童クラブ（蕪城あさがおクラブ）建設		進事業補助……………	1040万円	千代女の里俳句館建設事業（平成18年秋完成）	
工事……………	6251万円	観光振興のための事業……………	4802万円	……………	3億5319万円
地域子育て支援センター整備（倉光八丁目地内）		地域振興公社へ出資金……………	1000万円	松任総合運動公園体育館・美川武道館・白山ろ	
……………	2億4400万円	観光、温泉事業特別会計への繰出金……………	1億0156万円	くグラウンドなどの改修……………	1億0518万円
保育所の整備（4保育所）……………	589万円	◆土木費……………	増額8億1001万円	体育施設管理公社へ出資金……………	2000万円
保育所の玄関にTVモニターインターホン設		道路改良工事と舗装工事など……………			
置（全保育所3年計画）……………	370万円	……………	5億2125万円		
◆衛生費……………	増額1650万円	雨水、排水対策として水路補修工事など			
新中宮温泉センター引湯管修繕と源泉洗浄工事		……………	5150万円		
……………	750万円	福正寺竹松線の用地取得や工事関係、都市公園			

◇債務負担行為補正

(年度を越して事業をする支出予定額)

総合計画策定事業	200万円
障害者計画策定事業	160万円
郷地区年寄りと子供の広場用地取得事業	3300万円
倉部川改修事業	1億5300万円
都市計画基本図作成事業	3600万円
千代女の里俳句館建設事業	3億2350万円

特別会計補正予算

◇介護保険特別会計

死亡、転居による納付金の補正	増額43万円
合計	58億2501万円

◇簡易水道事業特別会計

河内・鳥越地区簡易水道の工事関係

増額	5000万円
合計	4億3859万円

◇観光事業特別会計

金沢セイモア・中宮温泉・鳥越高原大日・一里野温泉・白峰温泉のスキー場リフト整備、点検など	増額1億1241万円
合計	29億3277万円

◇温泉事業特別会計

一里野温泉引湯管の工事など

増額	8325万円
合計	1億1748万円

◇下水道事業特別会計

公営企業からの高利子の地方債(借金)を低利子に借り換えるため	増額1億6596万円
合計	100億2893万円

条例

4件賛成

○総合計画審議会条例

・地方自治法の規定により制定

○市営駐車場条例の一部を改正する条例

・松任小学校前の駐車場用地の賃貸借契約を廃止

○乳幼児医療給付金支給条例の一部を改正する条例

る条例

・入院に係る医療費を小学校六年生まで助成

○農林水産加工販売施設条例の一部を改正する条例

る条例

・グリーントピア松任の目的用途の廃止

事件処分

8件賛成

○石川県市町村消防団員等公務災害補償等組

合規約の変更

- 石川県市町村職員退職手当組合規約の変更
・富来町と志賀町、山中町と加賀市の合併による規約の変更

○石川県市町村消防賞じゅつ金組合規約の変更

- ・白山市、能美市、宝達志水町、中能登町、能登町の誕生による規約の変更

○市道路線の認定

○市道路線の変更

- ・区画整理事業、開発行為の完了及び道路改良計画による認定、変更

○市民工房うるわしの指定管理者の指定

・市民工房うるわしの7月末完成に伴うもの

○財産の譲渡

・松任農産物販売施設(グリーントピア松任)を松任市農協へ無償譲渡

○白山市過疎地域自立促進計画の策定

・過疎地域自立促進特別措置法に基づき、過疎地域の自立促進のため計画を策定

◎事件処分とは、法令により議会が議決をしなければならない案件のうち予算・条例・人事以外のもの

報告

報告8件

- 平成16年度一般会計繰越明許費… 11事業、4億7,756万円を次年度へ繰越
- 平成16年度下水道事業特別会計繰越明許費… 3事業、6億7,357万円を次年度へ繰越
- 白山市土地開発公社、美川町土地開発公社、鶴来町土地開発公社、鳥越村土地開発公社、財団法人白山市松任農業公社、株式会社ピークスの経営状況の報告

決算認定

認定4件

平成16年度	収益的収支	資本的収支
松任市水道事業会計	8,910万円	▲3億8,704万円
美川町水道事業会計	1,448万円	▲ 5,849万円
鶴来町水道事業会計	1,692万円	▲ 7,638万円
鶴来町工業用水道事業会計	634万円	▲ 810万円

合併までの10ヶ月決算です。
各不足分は、留保資金等で補てん

専決処分の承認

承認14件

	補正金額	合計額
一般会計	▲4億8,234万円	188億9,824万円
国民健康保険特別会計	2億8,193万円	25億2,300万円
老人保健特別会計	▲2億9,797万円	22億8,074万円
介護保険特別会計	▲ 6,400万円	13億6,171万円
簡易水道事業特別会計	▲ 1,711万円	2億7,595万円
墓地公苑特別会計	歳入財源の区分の振り替え	227万円
観光事業特別会計	1億3,936万円	22億2,129万円
温泉事業特別会計	68万円	9,570万円
下水道事業特別会計	▲ 432万円	54億1,644万円

- 白山市税条例の一部を改正する条例
- 白山市国民健康保険税条例の一部を改正する条例
- 白山市過疎振興対策のための固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例
- 平成17年度老人保健特別会計補正予算…6,013万円増額し、合計99億4,628万円
- 平成17年度観光事業特別会計補正予算…11億2,950万円増額し、合計28億2,035万円

◎専決処分とは、議会を招集する時間がないと認められた場合など特定の場合に、長が議会に代わって議決すべき事件の処分を行うこと

採択された請願

- ・乳幼児医療費助成への国保国庫負担の減額調整（ペナルティー）の廃止を求める国への意見書採択をもとめる請願書

議会議案 9件

市議会のルールを手直し

- 白山市議会会議規則の一部を改正する規則
- ・議会中の質問を3回としました

提出者 大本久男 全員賛成

平和のため 決議

- 核兵器廃絶を求め「平和都市」を宣言する決議
- ・核兵器廃絶と非核三原則厳守のため

提出者 大本久男 全員賛成

国へ要求する意見書を提出

- 地方六団体改革案の早期実現に関する意見書
- ・真の三位一体改革実現のため地方六団体の提案を考慮せよ

提出者 高川篤文 全員賛成

- 地方議会制度の充実強化に関する意見書
- ・地方議会の機能強化や活性化のため制度改正を求める

提出者 村山一美 全員賛成

- 2006年度国家予算編成において義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書
- ・教育の機会均等や義務教育の根幹維持のため制度の維持を求める

提出者 林 繁 全員賛成

- 労使協議に基づく公務員賃金決定を求める意見書
- ・公務員賃金について労使間による十分な協議を求める

提出者 竹田伸弘 全員賛成

- 公共交通機関の安全な運行を求める意見書
- ・公共交通機関の安全な運行のため事業者への指導の徹底を求める

提出者 安田竹司 全員賛成

- 定住外国人の地方参政権付与に関する意見書
- ・定住外国人に選挙権、被選挙権を与えよ

提出者 大本久男 全員賛成

- 国民健康保険療養給付費等国庫負担金の調整（減額）廃止を求める意見書
- ・乳幼児医療費の助成方法を現物給付方式へ改善せよ

提出者 高川篤文 全員賛成

常任委員会レポート①

総務企画常任委員会

委員長／藤田 政樹

副委員長／小川 義昭

所属委員／村下 眞次、村本 一則、杉本 典昭、小島 文治、
竹田 伸弘、北村 登、水上 俊明

所 管／議会議務局、総務部、企画財政部、会計課、選挙
管理委員会及び監査委員の所管に属する事項、他
の常任委員会の所管に属しない事項



6月23日、委員会を開会、議案9件、陳情7件を審議する。

白山市過疎地域自立促進計画の策定をはじめとする事件処分案について、可決すべきものとして決する。また、平成16年度白山市一般会計をはじめ専決処分について全員異議なく承認する。

陳情については、公契約法、市場化テストについて説明を聞いたほか、永住外国人住民の住民投票権付与を求める要望に意見が交わされる。

◎平成17年度白山市一般会計補正予算

歳入の審査過程において、今後とも合併特例債等の有利な財源を有効かつ計画的に活用するようにと申し入れる。

主な事業

議会だより、白山総合計画等、交通ネットワーク計画、吉野谷支所耐震工事、期日前投票システム

地方債の補正 主なもの

子育て保育施設整備事業

道路整備事業……………2億0400万円
道路整備事業……………4億8320万円
街路整備事業……………3億8000万円
千代女の里俳句館建設事業……………2億3940万円

◎条例の制定、一部改正

白山市総合計画審議会条例の制定及び白山市営駐車場条例の一部改正について、原案どおり可決することに決する。

行政視察報告

5月18日から20日にかけて愛知県新城市、三重県桑名市、四日市市を視察しました。

○市民出資のまちづくり会社 愛知県新城市

新城市は名古屋から60kmの奥三河の中心都市です。中心商店街の活性化を目指して地域住民が立ち上がり、まちづくり会社を設立しました。豊かな自然の中で、朝市やお茶・酒の販売を中心に展開し、新規事業としてはパソコン教室やTMO事業に取り組んでいます。

○一市二町の合併 三重県桑名市

平成16年12月桑名市と長島町、多度町が合併し新桑名市が誕生しました。

総合支所方式の旧二町の役場は、住民サービスの低下をきたすことのないように人事異動は最低限としました。今後は、新市一体化に向かって市内全域の均衡ある発展に努め、行政改革の推進に取組み、本所と支所の機能を見直していくとのことでした。

○行政経営戦略プラン

三重県四日市市

四日市市は三重県最大の国際港湾都市です。従来の行政運営の仕組みを根本的に見直し、行政自らの使命と役割を明確にし、限られた予算の中で、市民にとって満足度の高いサービスを如何に提供していくか、どのような成果が得られたかを視点に行政改革が進められています。



常任委員会レポート②



文教福祉常任委員会

委員長／清水 芳文

副委員長／南 清人

所属委員／北嶋 章光、宮中 郁恵、宮岸 美苗、石田 正昭、
前多 喜良、村山 一美、徳田 巖

所 管／教育委員会及び健康福祉部の所管に属する事項

6月23日、委員会を開会、補正予算案2件、条例案1件、事件処分案1件及び専決処分の承認に係るもの6件を審議する。
議案80号については賛成多数をもって、そのほか9議案については全会一致をもって原案どおり可決すべきものとして決する。

請願第1号乳幼児医療費助成への国保国庫負担の減額調整（ペナルティー）の廃止を求める国への意見書採択をもとめる請願書については、全会一致をもって採択すべきものとして決する。

主な事業

○民生費

自立支援型住宅リフォーム資金助成事業やかわち保健センターで行う運動指導員、放課後児童クラブの運営費や施設費の他、福祉の郷整備事業計画地内での子育て支援センターなど。

○衛生費

新中宮温泉センター管理費や公民館への血圧計の設置費など。

○教育費

小学校スキー遠足等実施事業や小中学校の校舎等修繕費の他、千代女の里俳句館建設事業や市民工房うるわし管理運営事業費など。



行政視察報告

去る5月16日から18日までの3日間、東京都調布市、小平市、千葉県市川市を視察研修しました。

○PFI方式による学校建設

調布市では、学校建設及び管理運営にPFI方式を全国で初めて導入しました。メリットとして、建設から管理運営、メンテナンスまでを一体化することで全体的な創意工夫と事務の簡素化をはじめ、通年利用可能な温水プールや特別教室を地域開放するなどPFIならではの取り組みもありました。白山市も今後順次学校建替えをすることから参考にしたと思います。

○学校グラウンドの芝生化事業

市川市では、芝生研究に詳しい千葉大学の浅野教授の指導のもと、薬剤を使わず、維持管理費の安い、強い芝による校庭の芝生化を推進しています。メリットとして、砂塵の飛散防止や断熱に効果を上げる一方、休日には地域開放し、憩いの場、ふれあいの場を提供しています。来年開校の蕪城小学校校庭の芝生化の管理運営の参考にしたいと思っています。

○幼稚園アットホーム事業

小平市では、市単独事業として、私立幼稚園において保育所と同等時間園児を預かる事業を行っています。メリットとして、少子化、女性の社会進出、核家族化が進展する中、幼稚園児の減少と保育園待機児童の増加を同時に解消できました。利用者の多様なニーズに応える保育所や幼稚園のあり方を考える上で参考にしたいと思います。



常任委員会レポート③

生活経済常任委員会

委員長／林 繁

副委員長／河原 秀昭

所属委員／古河 尚訓、撫子 順一、吉田 郁夫、笹木 進、
大本 久男、岡田 俊吾、中西 恵造

所 管／市民生活部、産業部、観光推進部及び農業委員会
の所管に属する事項



6月24日、委員会を開会、議案11件を審議する。いずれの議案についても全会一致をもって原案どおり可決、または承認すべきものと決する。

補正予算の主な事業

◎農林水産業費

河内地区のつげもの加工施設、JA鶴来郷の農産物直売所、地域農業集団育成事業費など。

◎商工費

綿ヶ滝いこいの森周辺整備事業、デジタル掛け軸イン鶴来の開催補助、観光マスタープラン策定事業費など。

◎消防費

松南分団消防ポンプ車整備、松陽分団消防ポンプ自動車格納庫整備事業費など。

◎17年度観光事業特別会計

安全性維持のためのリフト等施設修繕費など。

◎17年度温泉事業特別会計

一里野温泉引湯管新設工事費など。



行政視察報告

5月31日から6月2日にかけて県外研修を行いました。

◎長野県飯田市「人口10万7000人」

環境基本計画「21いいだ環境プラン」に基づき、ゴミ処理費用負担制度の導入、容器包装などリサイクルの推進など様々なことに取り組む姿が見られました。また、グリーン・ツーリズムの推進について、農業・農村を基礎に、農山村地域の交流・半定住・定住人口の増加など、観光のみでなく、中山間の風土を活かしながら産業の振興を図り、持続型社会の構築を目指し、特にリピーターの確保に重点を置いて取り組んでいました。

◎長野県松本市「人口22万7000人」

本年4月1日に1市4村で合併した面積919平方キロの市であり、日本アルプスに囲まれ日照率が高く、地味肥沃で作物の栽培に極めて適しています。ここでは、滞在型市民農園「クラインガルテン（小さな庭）」について、指導を受けました。平成3年以来、平成15年度までに131区画整備され、有機無農薬栽培、緑豊かな美しい景観作り、都市と農村・山村の活気ある交流を目的に行われていました。信州というブランドと素晴らしい景観に恵まれていることが、立地条件として備わっていたところに成功の秘訣があったと思われる。しかし、一番大事なのは、住民の理解と応援であるとも感じました。

その他、最終日に岐阜県高山市の道の駅「パスカル清見」を視察しました。

建設企業常任委員会

委員長／寺越 和洋

副委員長／本屋 彌壽夫

所属委員／安田 竹司、岡本 克行、高川 篤文、北山 進、
北川 謙一、西川 寿夫

所 管／建設部及び上下水道部の所管に属する事項



6月24日、委員会を開会、議案8件を審議する。結果、全議案原案のとおり可決承認すべきものと決する。

主な事業

◎道路橋りょう費

・除雪車修繕と安全な市道・区道のための改良と舗装工事、設計委託、用地取得の費用など

・主な市道・区道整備事業：松任4路線、美川3路線、鶴来3路線、鳥越2路線

・町会要望の市道・区道改良：松任12路線、美川3路線、鶴来3路線、鳥越3路線

・道路舗装工事：松任5路線、鶴来2路線、尾口1路線

◎河川費

・河川の雨水排水対策の水路工事など

◎都市計画費

・都市計画基本図の作成

・都市計画区域内事業(福正寺竹松線の街路整備)として、委託料と用地取得や移転補償や工事費など

・都市公園と市民公園11ヶ所の公園の維持のための施設管理の委託や整備の費用など

◎住宅費

・まちなみ景観形成のガイドライン作成の業務委託料

・市営住宅の空家解体や屋上の防水工事費、委託料(第二長屋住宅、吉野住宅)

◎簡易水道事業特別会計

・河内・鳥越地区簡易水道の滅菌装置の設置

◎下水道事業特別会計

・公営企業から高利子6%で借りている地方債を低利子2%前後に借り換えるため

行政視察報告

日程：5月31日～6月2日

行き先：福岡市那珂川町・春日市、長崎県佐世保市

◎那珂川町「人口4万7541人」

目的：白山市で建設が計画されている新幹線車両基地のモデルとなる博多総合車両基地の立地により、どのように土地区画整理事業が行われ、まちづくりがどのように行われたか、波及効果を視察しました。

◎春日市「人口10万8933人」

目的：急速な都市化により無秩序な市街化となつた春日市では、住民主体の地区計画策定からの「まちづくり条例」の制定により、行政と住民と一体となつたまちづくりを視察しました。

◎佐世保市「人口24万2139人」

目的：佐世保市では、水資源保全の観点から、節水型都市を目指し下水処理水の利用を視察しました。また、観光都市を目指す同市の、景観形成基本計画と都市景観要綱を研修しました。



防災対策特別委員会行政視察報告 (村本一則委員長)

6月8日から9日に兵庫県神戸市、淡路市、明石市を視察研修しました。

神戸市は、平成7年1月17日の阪神・淡路大震災により、甚大な被害に



遭い地震直後から火災が多発し、たくさんの方々が残った災害でした。

震災時、現場処理で防災対策マニュアルはほとんど効力が発揮できなかった、大事なものは、隣近所の協力であり「地域の安全は、地域で守る」それが最も大切であると説明でした。

10年前に大震災があったことがうそのように街は復興されていました

が、心の奥底には深い傷跡が残っているように感じられました。

淡路市の北淡町震災記念公園では、野島断層を視察しました。白山市にも活断層「森本・富樫断層帯」があり、いつ激しい地震が起きてもお不思議ではないと説明されました。

明石市防災センターは「見て、聴いて、触れる、防災学習」を主に、防災教育・啓発のための様々な機能を備えています。

白山市においても、市民の安全・安心のまちづくりには災害時の情報収集機能、防災対策機能の充実が不可欠であり、老朽化した消防本部関係の整備建て



整備建て替えが必要と視察を通じて痛感しました。

一般質問



水上 俊明議員

Q 行財政改革が最重要課題だ

A 知恵を集めて健全財政実現

質問 市が抱える長期借入金総額で1563億円ある。繰り上げ償還をすべきではないか。

策定し、財政指標に注意していく。

市長 借金負担は他の市町と比べて低い方で悪くはないが、経費を抑えてでもそのようにしていく。

質問 無駄な支出をなくすために公共工事、その他の契約の方法を検証すること。

市長 合併以前の市町村財政を見比べながら予算を編成した。

市長 借金負担は他の市町と比べて低い方で悪くはないが、経費を抑えてでもそのようにしていく。

質問 無駄な支出をなくすために公共工事、その他の契約の方法を検証すること。

市長 借金負担は他の市町と比べて低い方で悪くはないが、経費を抑えてでもそのようにしていく。

質問 無駄な支出をなくすために公共工事、その他の契約の方法を検証すること。

質問 合併特例債を大いに利用して、どうして財政を健全なものにできるのか。

市長 現段階で導入する必要がある。今後電

市長 公共事業は、緊急性、必要性、費用対効果を考え

質問 8つの自治体が合併したのだから職員定員

を優先的に利用して行うよう、皆さんに相談して計画を立てる。

市長 行政と市民がともに

質問 4つの数値目標を設定し、それを達成しないと健全財政にできないのではないか。

市長 そういう考えで予算

市長 目標数値を設定するために中期財政計画を

質問 平成17年度予算は財政計画より7億円上回っている。今年度は財政改革

市長 目標数値を設定するために中期財政計画を

質問 平成17年度予算は財政計画より7億円上回っている。今年度は財政改革

市長 目標数値を設定するために中期財政計画を

質問 平成17年度予算は財政計画より7億円上回っている。今年度は財政改革

市長 目標数値を設定するために中期財政計画を

質問 平成17年度予算は財政計画より7億円上回っている。今年度は財政改革



杉本 典昭議員

Q 放課後児童クラブの整備計画を示せ

A 緊急度の高いところから優先整備する

質問 市が建設した施設と民間から借り上げた施設などでは、かなり格差がある。早急に格差是正を図るべきであるが、整備計画はあるか。

これまで「広報はくさく」や「音声告知放送」等により注意を呼びかけているほか「火災予防啓発チラシ」を全域で回覧し、消防団による巡回を行って防犯に協賛し、年度内に一部用地買収に入りたい。

市長 放課後児童クラブは、これまで順次整備を進めている。今後の整備方針は、民間から借り受けている施設で緊急度の高いところから優先的に整備を進めていきたい。

質問 防災（火災）の徹底を進めていきたい。光線の工事見直しはいつか。

市長 三浦町今年半年で昨年の発生件数を上回っている。火災予防に対し、どのように徹底を図るのか。

市民生活部長 主な原因は、「てんぷら火災」「たばこ火」等の不注意が主である。合併特例債などの財源を活用し進めている。



整備が待たれる児童クラブ



北嶋 章光議員

Q 消防防災施設の充実

A 財源問題など国、県と折衝中

質問 地震等災害が起きた場合の対策及び体制は。

市長 現在秋ごろをめどに地域防災計画を策定中である。

質問 白山市の消防施設の老朽化、手狭な訓練施設等、特に拠点となる消防本部の改築等の具体的な計画は。また財政負担はどのように考えているか。

市長 昨年、消防庁舎等基本構想検討委員会を立ち上げた。今後は、財源問題や課題等を関係機関と検討していく。



老朽化した消防本部

質問 消防防災無線のデジタル化は。

市長 整備指針が国から示されている。施設の整備と歩調を合わせて検討していく。

質問 学校、家庭、地域の連携や役割をどのように考えているか。

教育長 学校の教育方針など、家庭や地域に説明、公開し意見を聞く等、体制を推進していく。

質問 放課後や休日の活動政策及び計画は。

教育長 地域の方と連携し公民館事業等、体験活動、スポーツ少年団など展開していく。

質問 心の教育は、コミュニケーション力の強化は。

教育長 子供たちが心身ともに成長するため支援体制の充実を図り県より派遣された社会教育主事に新市全域での活躍を要請している。



宮中 郁恵議員

Q 子育て支援策 どう周知啓発するのか

A 企業の協力を求め、 広報等で啓発

質問 県は子育て支援策として、プレミアム・パスポート

に協力を求め、広報やあさがおテレビ等で啓発を積た自治体は、改定料金に上乗せて返還するため、高く

極的にする。公営施設の入場料等の軽減も真剣に取り組み。市4040円、旧白山ろく3200円どうなるのか。



ト事業を創設。民間企業の協力を得て18歳未満の3人以上の多子世帯の経済的負担の軽減をするため、

は、施設問題等が多い。

市長 学校の改築時にあわせて整備できないか検討。

健康福祉部長 改定料金は今進めている事業計画で決める。

企業・店舗独自の割引特典を提供。企業や多子世帯に

民間の借り上げクラブ等 これらも計画的に改築にあわせて整備していく。

た公営施設はどのような割引をするのか。

質問 改定介護保険法で、

白山市の保険料はいくらになるのか。

が広がるよう商店や企業が

保険料の見込み違いで介



小島 文治議員

Q 松任駅前周辺の 活性化の具体策は

A 観光情報センター 新設等誘客を図る

質問 JR松任駅周辺および中心商店街にぎわいを取り戻すため、具体案等考え方を示せ。

した自由通路が望ましいと考えている。

建設部長 JR線地下横断道路の金剣通り線については、平成19年度に着工し、

市長 白山市の新たな顔にふさわしい景観として、「歴史、文化と活力を感じる庭園都市の顔づくり」をテーマに駅前を整備したい。

今後整備される駅周辺文化施設にあわせ観光情報センターを設置し、誘客を図りたい。新幹線により駅の建設は避けられない。

理事業と平行して整備するアクセス道の地下横断道路はいつ供用開始されるのか。

質問 放課後児童クラブの専用施設を学校敷地内に建設せよ。
児童数40人を超えた大規模児童保育

支援事業の介護予防、自立支援、介護予防拠点の整備取り組みは。

保険料を旧保険者ごとに設定するかも議論する。

施設整備は、住み慣れた地域で介護サービスが受けられるように日常生活圏を設定し、必要なサービス基盤の整備を図る。

北に行き来できる橋上化



松任駅前地区将来像



質問 今秋認定予定の北陸新幹線白山総合車両基地に関し、予定地域であるJ R北陸本線沿いの北安田町、宮丸町、米永町、宮保町に至る延長約3キロ、面積30ヘクタール以内の予定地周辺で道路や水路が確保できるよう早急な取り組みが必要だ。

市長 事業主体の鉄道建設・運輸施設整備支援機構に要請している。認可後に計画が示されると思っている。認可がおり次第、地元町内会、生産組合等関係者へ説明する。



西川 寿夫議員

Q 車両基地の道路確保を

A 事業主体に要請している

質問 サッカー場建設を望む。

質問 当面は松任総合運動公園グラウンド・サンの施設の活用を図りたい。

教育部長 スポーツランド松任・白山ろくグラウンド・美川県営手取公園サッカー場などの施設の活用を図りたい。



北陸新幹線計画ルート



中西 恵造議員

Q よい教科書を子供たちの手に

A 地域性を考慮し公平公正に採択

質問 白山市の将来を担う子供たちが、虐げられた歴史観の中で教育されないことが大切だ。先人たちは世界の中で、どのような立場で生き頑張ってきたのか、自国の歴史や文化を正しく見つめ、先人が築き上げてきた素晴らしい功績を教え、日本人としての自信と誇りを持つて育て上げることが大切だ。プラス思考の教育に向けた大切な白山市の教科書を選定せよ。

質問 白山市の将来を担う子供たちの成長を願う。ふ

学者 鈴木大拙直筆「BELL OF PEACE AND BROTHERHOOD」の一節が刻まれ、今なお光り輝いている。白山市が抱える由緒ある神社仏閣など教育的価値を持つ文化財など教材に事欠かない。この白山市の財産を十

質問 白山の恵みに感謝しながら育ってきた農業であり、人間の生きる基本になる食をつくる農業の大切さを学ばせるとともに地産地消・食農教育の一環としても「ごはん」を中心に置いた学校給食を求める。

教育長 地域の特性や生徒たちの実態に即した本市にふさわしい教科書を公平公正に採択する。

市長 郷土の偉人や歴史文化豊かな自然環境について学ぶことができるよう社会科の副読本を作成し家族の絆や感謝の心を大切に



大拙の想いがひびく鐘



僕はごはんが大好き

質問 新生白山市には山から海まで歴史・文化・伝統工芸などに満ち溢れている。そのひとつ美川北町の徳証寺の梵鐘に世界的哲

命であることを教えよ。

市長 地域の特性を生かし関係機関と協議しご飯給食の拡大に向け検討を加える。



村本 一則議員

Q 総合支所方式、機能しているか

A 効果的に機能するよう努力する

質問 支所長の権限、本庁の部長との関係は

支所長が決裁したが本庁の決裁が下りないために処理ができず、住民に不便をかけていないか。

持っている問題があるのは事実、事務執行上、支障のあるものは早急に改善・見直しを図り、住民サービス低下のないよう合理化に努める。

市長 支所長は本庁の部長と同等の執行権限を

質問 本庁と支所間の人事異動は

総合支所方式を機能させるには旧自治体間の人事異動が不可欠、組織替

えは検討しないのか。

市長 今年秋ごろから少しずつ取り組む

今後は職員間の融和を図るため人事異動を積極的に進める。

市長 今年秋ごろから少しずつ取り組む

今後は職員間の融和を図るため人事異動を積極的に進める。

その他の質問

質問 建設計画、財政と均

衡を図るべき。

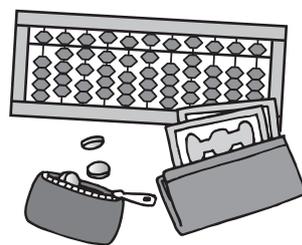
市長 緊急性のあるものから取り組む。

質問 債務負担行為の総額について。

市長 総額189億8000万円。

質問 し尿処理場の一元化について。

市長 構成市町村と協議していく。



撫子 順一議員

Q 市営住宅の建て替え問題は

A 前向きに検討する

質問 美川地区の市営第二長屋住宅は木造平家建て

39戸、古いものは築40年経過し老朽化が著しい建物である。しかも現在35世帯が入居している。市営住宅入居の需要も多いことから、美川和波町地内のセントラルパークに新たな市営住宅建設を求める。

また、この土地は旧美川町

質問 少子化対策の取り組みは

が取得し現在イベント時の駐車場であり、近年の蝶屋地区の人口増、美川地区の人口減、高齢化などを考慮し、早急な建設計画を要望する。

市長 昭和40年から45年に

かけ66戸建設し、その後、老朽化により現在は39戸を管理している。依然として、公営住宅への入居希望者は多い。

市長 昭和40年から45年に

かけ66戸建設し、その後、老朽化により現在は39戸を管理している。依然として、公営住宅への入居希望者は多い。

市長 「子供は社会の宝」

提案については、美川地区中心部の賑わい創出の有効な施策と考える。今後、高齢者専用住宅も視野に入れ検討する。

また、子供とお年寄りのふれあいの場として、保育所等の併設も考える。中高生には乳幼児と触れ合う機会をあたえ、また適齢期の男性、女性には出会いの場の提供も大事だと考えている。

質問 少子化対策の取り組みは

また、子育て、教育に大変資金がかかる時代であり特に高校、大学進学に市独自の奨学金制度を創設してはどうか。

また、卒業後市内に定住する方は減免措置や両親の所得制限の緩和など利用しやすい制度にしては。

奨学金は現在のところは既存の制度を活用していただきたい。経済的に学業を続けることが困難など、特殊事情がある場合の制度は、今後検討する。

また、卒業後市内に定住する方は減免措置や両親の所得制限の緩和など利用しやすい制度にしては。



住民に不便はないか総合支所方式



小川 義昭議員

**Q 市の憲法である
白山市自治基本条例の制定を**

**A 白山市の基本を示すものであり、
前向きに検討**

を前向きに検討したい。

質問 一里野温泉は、約10 毎年相当額の修繕費を費

キ口上流の岩間温泉から 摘されている。専門家の調
民宿等19施設に引湯して 査では同地区に有望な温
いるが、損傷が進み昨年度 泉地層があると報告があ
から7ヶ年事業で始めたる。温泉の安定供給、費用

対効果、地域の振興
を考へ新たな温泉開
発を要望する。

つまり市民の参画と協働
を基本にした、市民・市
議会との関係や役割を明
確にし、どのような自治
体を形成すべきかという
基本原則が不可欠と考え
る。白山市民が主体となつ
た、白山市自治基本条例
の制定を要望する。

市長 市民と行政が一体と

なってまちづくりをおこ
なうことは地方分権の時
代としては非常に大切な

ことです。市民の権利・責
務、議会、行政の責務を明

確にし、市民の参画と協働
を基本にした条例の制定



一里野温泉・温泉センター天領

修理費は最終的に計6億
円に上がる。引湯距離が長
調査・検討する。

にあり、雪崩・漏水のため、

**Q 全国へ発信できる
観光施策の充実を**

**A スキー場通年活用や
日本一発掘を**

ルする
極めて
有効な
手段と
して取
り組み
たい。市

質問 7月スタートのスキー
場対策検討委員会、初めに
スキー場廃止ありきではな
く、いかにして存続させるか
からの議論を。

市長 新聞報道でいろいろ言
われるが、初めに廃止ありき
ではない。検討委員会では経
営コンサルタントによる経
営診断をおこなうとともに、
夏場利用や運営改善を検討
する。

質問 市内にある自然や事柄
の中で、日本で一つしかない
オンリーワンのものや、日本
で一番であるナンバーワン
のものを発掘して、白山市を
全国に発信する事業の創設
を提案する。

市長 すばらしい自然や伝
統、文化を紹介するという観
点からより多くの応募を図
り、入選作品を広報や観光パ
ンフレットにも活用する。

質問 白山麓の山菜を加工し
た白山ブランドの特産品開
発を提案する。

市長 生産量確保や保存加工



日本一の白峰大トチノキ

**市内主要施設に
除細動器の設置を図れ**

質問 昨年7月、一般市民の
除細動器使用が解禁された。
最近の除細動器は小型化、軽
量化し、操作も簡単だ。救命
率アップのため、市内主要施
設に除細動器の設置を提案
する。

健康福祉部長 救急救命の
観点からは大変に良いこと
であり、前向きに研究する。



除細動器の講習会



北川 謙一議員

Q 上下水道料金、統一せよ

A 三年待たず、料金見直し検討

質問 上下水道事業は、住民生活にとって不可欠な生活基盤であり、合併後の事業運営については、慎重かつ円滑な統合に向けた調整が必要であり来年度料金統一を願う。

市長 合併協議の「3年をめどに調整する」というのは、3年据え置きの意味ではない。生活をするうえで一番大切なことは水道、飲料水を確保すること。また下水の問題にしても同じ市民として料金が同じくなければよいと思っっている。上下水道事業の経営は、地方公営企業法によって独立採算制が原則である。16、17年度の決



料金統一はいつ?

算状況を見極め18年ごろ予算の中で検討すべきと生活基盤であり、合併後の事業運営については、慎重かつ円滑な統合に向けた調整が必要であり来年度料金統一を願う。

放課後児童クラブ専用施設確保せよ。

質問 美川地区の学童保育は近隣町内会の集会所を借りて行われている。合併に伴う維持管理制度廃止により使用料の値上げの申し入れがあった。放課後児童クラブの施設整備については「公営施設等の活用を基本とする」とある。学校改築とあわせ保育施設の整備を望む。

市長 児童クラブの運営に

については、施設使用料や修繕費など要綱に基づき、経済的に支援をしていく。施設整備については美川小学校は非常に古く早急に建設をしたい。国、文部科学省への申請のために耐震調査の予算を計上した。児童クラブも敷地内で新しく建設したい。

学校改修と児童クラブの新築をしたい。



喜ばれている福祉タクシー

質問 公共交通体系の見直しはどつなるのか。

企画財政部長 地域の特性を考慮し見直したい。全市一本化にする事が目的ではなく、アンケートの意見に真摯に耳を傾ける。



古河 尚訓議員

Q 「無防備地域宣言」研究できないか

A 政府見解があり、慎重に対応したい

質問 77年に国際条約で認められた「無防備地域」白山市が平和を尊重する都市になるよう研究できないか。また、戦後60周年の記念行事ができないか。

市長 有事関連法の国会審議で政府は自治体が無防備宣言をできないとの見解を示しており、慎重に対応したい。記念行事は今のところ考えていないが、各事業を通じて市民に平和の尊さを伝えたい。

質問 白山市の友好都市は旧自治体を引き継いでおり、現在6都市。今後は新市の行政目標に照らし目的を持った交流を目指し、特に東アジアとの関係も重視すべきではないか。

市長 多くの市民が国際社会を知り、異文化に正しい

教育長 教員の資質向上の



旧松任市・おかりや公園の「平和宣言都市」モニュメント

質問 県が学校に目標管理と業績評価を内容とする「人事考課」制度を導入しようとしている。これは学校に無用な競争主義を持ち込み、「協力・協働」の学校運営を否定するもの。来年度本格実施はあまりにも性急ではないか。

に反映させるものであり、教育的見地より、人事管理の側面が強く、先送りを求めたい。

ためにも必要。指摘される心配もあるが、学校の活性化を損なわず、公正・公平でより客観性の高いものになるよう配慮が必要。



竹田 伸弘議員

Q 合併による 議員等削減効果は

A 5億5000万円の 減額

質問 次世代育成支援対策推進法では、3つの「行動計画」を策定することとして

質問 合併時には在任特例を使わず、議員数は100人から35人に削減した。首

及び都道府県行動計画（市民対象）②一般事業主行動計画（民間企業対象）③特

もあり、これによる経費はどれだけ削減できたのか。

は、特定事業主として行動計画が義務付けられている。しかし、本市は事業主として特定事業主行動計

画をいまだ策定していない。違法状態ではないか。

事業主行動計画の指導や策定状況はどうか。

市長 段階的に給与の格差是正を講じていく。

定したい。公社等外郭団体も同様に指導していく。

質問 今後の地方交付税や補助金の削減を視野に入

働きかけ、計画策定の方針

いかなければならない。行

政やその関係団体におい

て、その施設や、イベント開催時に企業から宣伝広

告費を集めるとか、いろいろ方法があると思う。行政

のプロジェクトである職員でプロジェクトを作り、無駄をな

くす簡素化も大切だが、新たな視点で、収入増につな

がる方策を検討せよ。

市長 各部署の企画立案担当者で編成しているワー

キンググループで効率的な行財政運営とあわせて、

新しい視点で収入増につながる方策を検討する。全

国の自治体で取り組んでいるところもあり、企業の

宣伝等も含め、知恵を出し

て考えたい。



大本 久男議員

Q 合併してどんなメリットがあったと思うか

A 地域資源を市民が共有し、 交流活動も促進された

質問 合併から4カ月半を

へた。これまで取り組んできた行財政改革の効果や

合併によるメリットを聞かせてほしい。

市長 議会議員の定数削減や三役の失職、審議

委員会の見直しなどで5億5000万円の経費

が削減された。

白山市の自然、歴史、観光

など貴重な地域資源を市民が共有し、各種団体の

事業によって交流活動も促進された。また図書館司書

や国際交流員などの専門職員が配置でき、教育では

少人数学級を全小学校に採用できた。

市長 市民工房は午後1時

まで利用できるようにし、

にぎわいを醸成したい。

あり、改革を進めていかなければならない。

質問 指定管理者制度は民間活力を取り入れて市民

サービスの上を目指すことにより、その光は輝

ものである。制度を積極的に採用し、効果的な行政

サービスを行つべきだ。

市長 観光戦略会議が目指すものは何か。

観光戦略会議が目指すものは何か。

市長 広域観光を推進する関係団体とも連携を密に

しながら一層の観光振興を図り、観光交流都市の実

現へ努力したい。



市民工房うるわし



吉田 郁夫議員

**Q 美川インターパークに
情報発信施設を**

**A 財政計画と照らしながら
協議したい**



北村 登議員

**Q 鳥獣害対策の
積極的な推進**

**A 効率的、効果的な
対策に取り組む**

質問 白山ろくの地域では、10数年前より猿、ハクビシンの出没により農作物に大きな被害を受けている。さらに猪、熊の出没も増えている。また、鹿の出没も増えている。また、鹿の出没も増えている。また、鹿の出没も増えている。

市長 山間部での鳥獣害については、十分に承知しているが、その対応に迷っている。補正予算で電気柵設置補助として計上したが、ざわいの創出に、観光面には、10数年前より猿、ハクビシンの出没により農作物に大きな被害を受けている。さらに猪、熊の出没も増えている。また、鹿の出没も増えている。

質問 国道157号より、本庁、病院、駅前等は、何本かのアクセスがある。現在、駅周辺整備計画で、

質問 地域環境・地域財産を生かした自然共生都市、白山市において都市圏と結ぶ高速道路ネットワークの観点から美川インターチェンジの重要性、またインター前の美川インターパークに観光・交流・産業面での核となる情報発信施設インフォメーションセンター建設整備が必要と考える。

我が白山市が県内において観光交流都市を目指すために重要ではないか。

市長 この建設については、新市の建設計画にも盛り込まれており、観光情報に加え産業面での情報発信機能を併せ持った施設として、本市が観光交流を目指すうえでにおいても有用と考えられる。



質問 主要地方道鶴来・美川インター線の四車線化を望む。

他の類似施設等も考慮し、あわせて今後の市の財政計画とも照らしながら、合併特例債の中での取り組みとして、協議・検討したい。

市長 県に対し、あらゆる機会を通じて重要性和事業化を要望していく。



野生動物による農作物被害

市長 先日、白山市鳥獣害防止対策連絡協議会を設置、地域住民を初め関係機関と協力し、効率のかつ効果的な対策に取り組む。山ノ庄・矢頃島線も大いに検討する必要がある。合併して不都合のないようできるだけ短時間で結ばれるよう努力する。

産業部長 先日、路線は事業認可を得ている。今後、県道が必要と思われる。

市長 金沢外環状道路の中で乾町から番匠町までの

策に苦慮し深刻な問題となっている。早急に総合的な対策を講じその推進を図るよう強く要望する。



北山 進議員

Q 安全で地域の活力あるまちづくりを

A 今後とも、前向きに取り組む

質問 白山市の地域防災計画は、いつごろまでに作成

するのか。また、防災用の備品は何処に配備するか計画を示せ。

市長 今年の秋を目標に、

地域防災計画を作成する。防災用備品（非常食、毛布、資機材）は各支所へ配備する予定。

質問 市民温泉を、住民の

憩いの場として今以上に利用するためにも年間会員券の発行を検討してはどうか。

市長 民間の公衆浴場施設

との関係や、他の自治体の温泉と比較検討し、今後の利用状況等も見、検討を続けていく。

質問 今の総合支所方式で

は、各支所に権限や、決裁権がない。今まで独自の文



最新の消防指令室

化や歴史を持ち発展して

きた各地域が発展する事

により、白山市にも活力が

生まれる。支所に権限を与

え地域の活性化を進める

べきではないか。

市長 支所長の権限や、決

裁額も含め市民サービス

を低下させないように今

後も検討を加えていく。



寺越 和洋議員

Q 町会長に行政のガイドブックを配布せよ

A 各町会長に作成し配布する

質問 行政とのパイプ役と

して尽力している町会長

に対し、市の担当課の業務

関係する制度や補助金等、

公共施設の一覧表、自警団

の役割を掲載したガイド

ブックを作成し配布すべ

きである。

市長 各町会長に町内会活

動に必要な事項を網羅し

たガイドブックを作成し

配布する。

あるので、行政の金銭的補

助を考えよ。

市長 公立松任石川中央病

院では地元産のコシヒカ

アツプしバランスよく提

供してもらい、農協と供給

システムを協議する。

価格面は、今までどおり二

等米との差額を市と農協

で折半する。

白山市の地産地消を聞く

質問 白山市の誕生に伴い

学校給食、保育所、幼稚園、

公立の病院や特養などの

施設で、どのように新しく

地産地消を取り入れるの

か。また、現状を問う。

地元産の米や食材の導入

教育長 学校給食、米、

野菜など地域食材の

利用に努力するが、

取獲時期の定量確保

の問題がある。

学校給食メニューは

栄養士の配置と主食

の供給状況で献立を

3グループに分けた。

食材の一括発注は多



おいしい給食、たのしいな



本屋 彌壽夫議員

Q 高規格道小松・白川線 着工はいつか

A 国土交通省において 調査に着手

質問 福井県大野勝山、岐阜県白川郷、白鳥及び郡上八幡、そして富山県上平村から城端福光の各観光資源群との連絡こそが白山市における観光と文化の発信となるのではないか。この道路ができる新たな広域観光リゾート圏が形成され、加賀温泉郷と首都圏、中部圏との時間短縮で首都圏4時間余のコースとなる。また小松空港を生かした国際交流の玄関口として世界から多くの人・物が集まってくることも期待でき、地域の産業活動等広域的な連携による経済効果は計り知れない。市長は地域高規格道路小松・白川連絡道路について今後どのような運動をするのか、加賀飛騨トンネルの着工はいつか。

市長 石川県と岐阜県を結び、中部圏、首都圏を最短で結ぶ総延長50キロメートルの重要路線である。この道路の整備により金沢、加賀白山、白川郷、飛騨高山等を結ぶ広域観光リゾート圏ができ、白山麓等

質問 鳥越高原大日スキー場に大口径ライフル射撃場誘致の考えは。

市長 施設規模や維持管理の重要性から県レベルでの整備運営が適当と考え

る。社団法人石川県猟友会が県の補助を受け、県内に

市長 施設規模や維持管理の重要性から県レベルでの整備運営が適当と考え

る。社団法人石川県猟友会が県の補助を受け、県内に

質問 スキー教室を学校と協議し、全学年を対象として子どもたちに雪に親しむ機会を多くあたえてはどうか。



南 清人議員

Q 子ども達に リフト運賃補助を

A 共有できるリフト券の 発行で対応

質問 スキー教室を学校と協議し、全学年を対象として子どもたちに雪に親しむ機会を多くあたえてはどうか。

市長 市内の子ども達にリフト運賃補助を

質問 官民協力のもと多様な支援を行い不登校問題にとりくんでほしい。

教育長 大自然との触れ合いを大切にしたい。

質問 市内の子ども達にリフト運賃補助を

教育長 行政だけでなく、学校関係者や、民間団体

教育長 行政だけでなく、学校関係者や、民間団体

質問 市内の子ども達にリフト運賃補助を

教育長 行政だけでなく、学校関係者や、民間団体



スキー教室を楽しむ子供達



河原 秀昭議員

Q 地元産材を積極的に使用せよ

A 積極的に使用して行く

質問 森林整備を考える上で森林から搬出される木材の利用比率を上げるために、今後、市が発注する公共施設等に地元産材の積極的な使用を求めます。

市長 建設中の蕪城小学校の内装材に出来るかぎり使用する。今後の事業においても、積極的に使用していきたい。

質問 林地残材の木質バイオマスエネルギーとしての使用を提案する。

産業部長 バイオマスの取り組みは、桑島温泉総湯にチップポイラーを導入し、木質バイオマスエネルギーの活用に取り組んでいる。

質問 白山市管轄内での携域消防本部は管轄する区域で森林からの119番通報システムの取り組み状況を問う。

市民生活部長 白山石川広域消防本部は管轄する区域で森林からの119番通報システムの取り組み状況を問う。月より予定し、初動対応の迅速化を図る。



豊富な地元産材



宮岸 美苗議員

Q 学校給食はあくまでも自校方式で

A 当分は自校で、民間委託慎重に検討

質問 学校給食は自校方式で。

教育長 当分の間は自校方式で実施し、学校給食会の提案もいただきながら民間委託は慎重に検討する。

質問 保育所で完全給食を。

健康福祉部長 国の基準で画を策定する。アンケートのほか、障害のある方に策定委員になってもらい意見を聞いていく。

質問 3歳以上児の給食は副食のみとなっている。主食や機材で約3千万円、他に施設整備が必要となり、完全給食は考えていない。

健康福祉部長 制度の周知・啓発を図るとともに未登録法人には登録を促す。

質問 障害者計画に当事者の生の声を反映させよ。

市長 平成17、18年度で計画を策定する。アンケートのほか、障害のある方に策定委員になってもらい意見を聞いていく。

市長 松任地区全域の説明会にはしない。市民理解と研究会の機会としてシンポジウムの開催などは意義があると思う。

質問 将来、在来線は守つていけるのか。

市長 新幹線が金沢以西に延長すれば、在来線は第三セクターとなり特急は全額自己負担に。その分、市民の足に直結したダイヤ編成ができる。利用者の多い路線は、低所得者対策として社会福祉法人の減免制度を活用することは可能。



自校方式の調理室

質問 10月からの特養ホーム等の食費・居住費の削減は、低所得者対策として社会福祉法人の減免制度を活用することは可能。

議会を傍聴しませんか？

議会ごどのように議案が審議されるのか、あまり知られていない議会のしくみを解説いたします。

■定例会・本会議

毎年3月、6月、9月、12月の4回招集される会議。ほかに必要に応じて臨時会が招集されます。

また、提出された議案は本会議において採決、決定されることが原則になっています。

■一般質問

市政全般にわたり、議員が本会議の場で質問に立ちます。白山市では発言時間20分、再質問は2回(5分)という申し合わせになっています。

■常任委員会

4常任委員会が設置され、全議員が所属しています。本会議に提出された議案の内、それぞれの委員会が関わる議案

の審議を引き受けることとなります。その審議結果は委員長から本会議に報告されます。また、目的に応じてこの委員会単位で視察に出かけています。

■議会運営委員会

委員6名で構成され、申し合わせで多数会派の代表がでています。おもに議会の運営に関わる調整を行っています。

■特別委員会

特に協議が必要とされる課題で設置されます。現在、防災、観光、交通、少子化の委員会が設置され、議員全員が所属しています。他に決算審査、議会だよりの委員会も設置されています。

あさがおテレビで放映はされていますが、直接議員の意見を聴く機会にもなります。気軽に議会傍聴にお出かけください。庁舎7階が傍聴席です。



編集後記

白山市議会だよりが創刊されました。旧自治体では美川町、鶴来町、鳥越村、吉野谷村が発行していました。そのノウハウを受け継ぎながら、編集委員一同、かなりの時間をかけて発行にこぎ着けました。

議会を市民の身近なものにしたい、私たち議員の願いですが、この議会だよりがその一助となれば幸いです。ぜひ、市民の皆様から議会への要望、議会だよりの感想を議会事務局宛にお寄せください。次回からはその意見を掲載させていただきます。次回からお願いいたします。(編集委員一同)

■編集委員会

委員長 中西恵造
副委員長 古河尚訓
委員 清水芳文・寺越和洋
村本一則・南 清人



発行／白山市議会 編集／議会だよりの編集委員会

〒924-8688 石川県白山市倉光二丁目1番地

白山市議会事務局庶務課

TEL:076-274-9580 FAX:076-274-8510

E-mail:gikai@city.hakusan.lg.jp

ホームページ <http://www.city.hakusan.ishikawa.jp/>



「白山市議会だよりの」は古紙率100%再生紙を使用し、大豆油インクで印刷しています。